



④ 70年前の災害を風化させない



10月14日、笠沙町野間池の夕日ヶ丘公園において、70年前のルース台風襲来時に遭難船の救助に向かい犠牲となった消防団員20名の慰靈祭が行われました。遺族や消防団関係者など約30名が出席し、「災害を忘れない、風化させない」という思いを新たにしました。ルース台風では他にも、野間池地区で高潮による死者17名、重軽傷者115名のほか、住家の全壊・半壊が多数など甚大な被害が出ました。

④ オンラインで旅行気分を味わって



10月9日から2日間、日本航空が主催する「JALオンライントリップ南さつま編」が開催され、全国各地から計75組が参加しました。市と市観光協会が企画協力し実現したもので、インターネットを通じ本市の特産品や旅の魅力を発信しました。

日本航空から本市観光交流課へ派遣されている坂本高昭さんは「参加者と生産者のコミュニケーションを通じ地域の魅力がより深く伝わった。今後の誘客や物産購入に繋げたい」と話しました。

④ 大きなお芋 見つけたよ



10月5日、宮崎保育園の園児が同園の食農教育実習園で芋堀り体験をしました。園児たちは一生懸命に手やスコップで穴を掘り、丸々とした芋を見つけるたびに歓声を上げ収穫を楽しんでいました。体験後は早速近くの日枝神社境内で焼き芋にして、秋の味覚を堪能。東明爽ちゃん（6歳）は「大きいお芋がとれて楽しかった。美味しいくて大好き」と大喜びの様子でした。

④ 地域学習で地元の歴史に関心を



10月9日、内山田小学校の全児童11名が、地域住民などで構成する「内山田キッズわくわく塾」の会員4名から、内山田七不思議のひとつで雨乞いをしていたとされる“鳴石”や、同校の旧鉄山分校の歴史について学びました。どちらも初めて訪れたという橋口真桜さん（6年生）は「鉄山分校から内山田小まで歩いて1時間も掛かるから、運動会や発表会など色々大変だった事が分かった」と話しました。